



桂 撤男 議員  
(灘会)

一般質問

■有害獣イノシシ捕獲の抜本的対策について

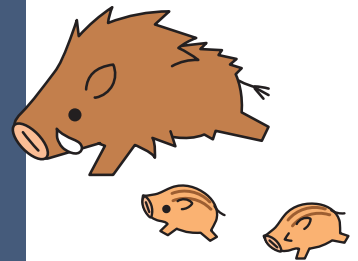
イノシシ被害の抜本的な対策を！

**質問** イノシシの被害が年々増加し、農産物だけでなく、道路の法面、ため池のえん堤、農水路、公園や遺跡など、被害が増大しており、大きなダメージを受けていることから、抜本的な対策が求められる。平成30年度における捕獲数、狩猟免許保有者数と設置檻数、農産物の被害額の現状と捕獲後の処理と埋設の助成費の見直し、共同処理施設の必要性をどう考えるか。

**答弁** 捕獲数1,212頭で前年比721頭の増である。県では狩猟免許保有数は公開していないが、七尾市の有害捕獲隊員数は126名(うち女性4名)で前年比37名の増、設置檻数は七尾鹿島鳥獣被害対策協議会所有が108基、個人所有が77基で、全体での前年比46基の増となっている。被害面積13.36ヘクタール被害額1,280万4千円、前年比2.39ヘクタール258万円でいずれも増である。処理方法については、埋設のほか、自家消費、シビ工施設への搬入であり、埋設1回あたり3,000円の助成費を今年度より6,000円に増額としている。捕獲した有害鳥獣の適正な処理に向け、共同の専用焼却施設の設置が必要と考えているが、地元の協力を得て設置場所を選定し、国県と調整の上、来年度、調査に入れるようにしたい。

【その他の質問項目】

- インフラ(道路、橋、トンネルなど)の法定点検について
- 地域づくり協議会組織下での地区社会福祉協議会の必要性について



一般質問

■交流人口拡大策について

お祭り会館(仮称)の全国的な事前PRを！

**質問** 今年の大型連休中の入り込み客がどのような影響を及ぼしたのか、どのように総括しているか。スポーツ合宿に代表される交流人口の拡大を目指している七尾市は、市外からの評価も大変高まっているが、さらなる交流人口の拡大のため、和倉温泉お祭り会館(仮称)に取りかかっており、来年4月のオープンに盛り上げるためにも、スピードを上げて公表すべきものと考えているが、正式名称が決まっているのか、あるいは決まっていないのであれば、どのような方法で決定していくのか。

**答弁** 青柏祭が開催された5月3日から5日の3日間で約12万人、4月27日から5月6日の10連休で約28万人が七尾市に入り込みをした。経済波及効果では、青柏祭の期間中で約10億円、10連休では約23億円の経済効果があったものと考えている。七尾市街地、和倉温泉や能登島など、活気があふれ潤ったもの実感をしている。正式名称については、全国の類似施設名称を参考にし、検討していきたいと考えており、来年のオープンを盛り上げるため、チラシの作成などで、事前に全国に向けてPRしていくためにも、設置条例案を9月議会上程する予定で考えている。

【その他の質問項目】

- 生活道路・通学路の安全対策について



木下 敬夫 議員  
(無党派)

